

# 令和4年度各会計予算を可決

## Point! ここに注目!! 施政・予算編成方針総括質疑

歳入		一般会計 121億2千万円	歳出	
依存財源 43.9%	地方交付税 17.7億円 交付金7.4億円 地方譲与税1.8億円 町債6.5億円 県支出金8.6億円 国庫支出金 11.1億円 諸収入4.6億円 繰入金 8.3億円 分担金ほか6.1億円 繰越金 3.0億円		予備費 0.3億円 繰出金13.4億円 貸付金3.0億円 積立金1.8億円 補助費等 17.9億円 維持補修費2.7億円 物件費26.0億円 普通建設事業費等 5.3億円 公債費11.8億円 扶助費14.7億円 人件費 24.3億円	その他の経費 53.7% 投資的経費 4.4% 義務的経費 41.9%
自主財源 56.1%	町税 46.0億円			

### 歳入

新型コロナウイルス感染症の影響などにより、町税収入を対前年比0.3%減の46億円を計上。財源不足の補填として、普通交付税が2.5億円増の17.7億円を計上。町債は、道路橋りょう整備や消防施設整備等の財源として建設改良事業債を約3.3億円計上。臨時財政対策債については、地方財政計画により大幅な減額が見込まれているため3.2億円の計上に留めた。全体としては前年度に比べ約5.6億円の大規模な減額計上。

### 歳出

人口減少問題への取り組みをはじめ、脱炭素化に向けた環境対策、地域経済の活性化や商工業・農林業の振興、道路・橋りょう等のインフラ整備や防災・減災事業、教育環境の充実など、バランスに配慮された予算配分となっている。

### 町財政を見る3つのポイント

最新の数値（令和2年度）

- 1 財政力指数 0.76**  
前年比0.01ダウン
- 2 経常収支比率 90.5%**  
前年比1.00ポイント改善
- 3 実質公債費比率 7.2%**  
前年比0.3ポイント改善

予算のうち、どれくらいを自前の税収で賄えているかを表します。この数値が高いほど財政力が強いことを示しています。

人件費など毎年かかる固定費の割合。数値が低いほど政策的に使えるお金が多くなります。

一般会計が負担する借入金返済費用の割合。数値が高いほどほかの事業にあてる財源を圧迫することになります。

### 他の自治体とくらべたら？

市町村名	財政力指数	経常収支比率	実質公債費比率
那須町	0.76	90.5	7.2
県内類似団体			
壬生町	0.82	87.8	5.8
野木町	0.84	92.4	7.2
高根沢町	0.79	79.6	1.1
大洗町	0.71	94.7	6.5
友好都市			
会津美里町	0.28	89.1	5.2
葉山町	0.89	90.7	-2.1
下田市	0.49	85.8	6.4

那須町を県内類似市町と比較すると、財政力指数、経常収支比率、実質公債費比率はやや低い傾向にあります。

#### 定住・移住促進

- 関係人口の創出による二地域居住の促進
- ワークベース那須管理運営事業
- リビングシフト推進事業



#### 国民体育大会

- いちご一会とちぎ国体の開催
- 自転車ロードレース 10/9
- デモンストレーション スポーツ エアロビック 9/11



#### 観光振興


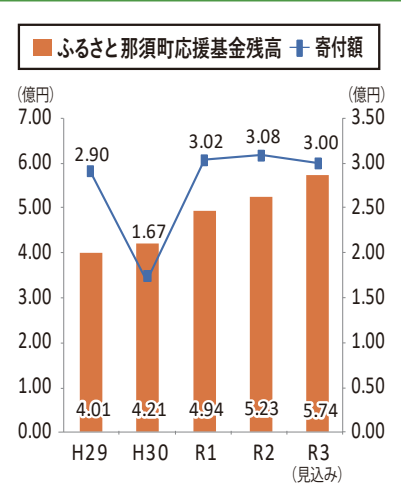
- 東北・関西方面への誘客対策強化
- 観光DMO設立支援
- 恋人の聖地市町村連携事業

※Destination Management Company (デザインেশョン マネージメント オルガニゼーション) の略。観光物件、自然、食、芸術・芸能など当該地域にある観光資源に精通し、地域と協同して観光地域づくりを行う法人のこと。

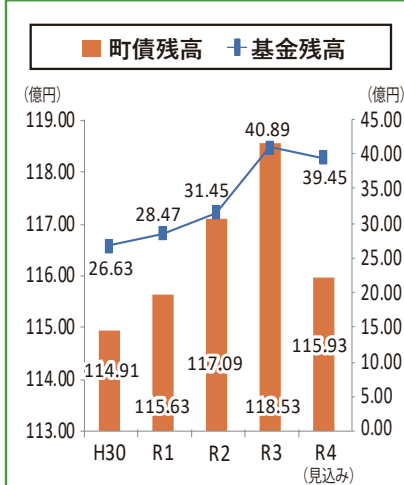


#### 自然環境・インフラ整備

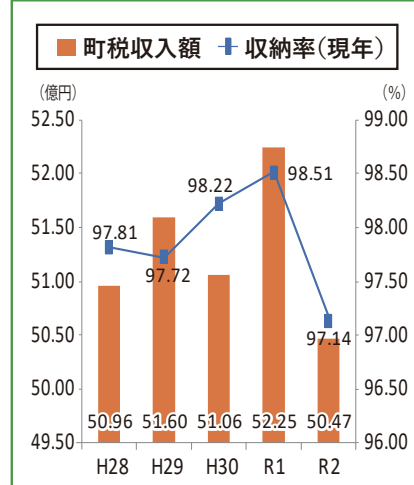
- 道路維持補修事業
- 橋りょう維持事業
- 「ゼロカーボンシティ宣言」に基づく地球温暖化防止に資する総合的な計画の策定
- 指定廃棄物の適正管理

平成20年度に創設されたふるさと応援寄附金は着実に増加し、令和元年度は初めて3億円を超え、近年は約3億円を維持しています。さらなる上積みが期待されます。



借入金である町債は、増加傾向にあることから、令和4年度は町債発行額の抑制を図っています。基金残高は、増加傾向にあり改善傾向にあります。大型事業や町債の返済の準備金として着実な運用が求められます。



町税収入額は、近年は約51億円程度、収納率は改善傾向で推移していますが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度はいずれも大きく減収・減率となりました。町税収入は歳入の根幹でありますので今後も注視していく必要があります。

特別会計名	令和4年度(千円)	対前年比	増減率	ピックアップ
国民健康保険特別会計	3,529,500	4,500	0.1%	令和4年度から18歳以下の被保険者の保険税(均等割額を半額)が軽減される。
後期高齢者医療特別会計	410,000	47,300	13.0%	被保険者の増加により後期高齢者医療広域連合納付金が増加している。
介護保険特別会計	2,878,000	79,000	2.8%	被保険者の増加により介護保険給付費が増加している。
下水道事業特別会計	590,100	227,700	62.8%	湯本浄化センター長寿命化・耐震化黒田原水処理センター設備更新等を実施する。
観光事業特別会計	0	△26,400	皆減	来シーズンより那須温泉ファミリースキー場運営を休止するため予算皆減となる。
水道事業会計	1,198,150	△88,516	△6.9%	老朽化した既設配水管等の布設替え、配水管の新規布設(上川、下川地区)を行う。

- #### 用語の解説
- 〔地方交付税〕 町の財政力に応じて国から交付されるお金
  - 〔国庫・県支出金〕 町が行う事業に対して国・県から交付されるお金
  - 〔町債〕 事業の財源に充てるため国などから借りたお金
  - 〔人件費〕 職員の給与
  - 〔扶助費〕 児童手当や医療費助成
  - 〔公債費〕 事業を行うときに借りたお金の返済金
  - 〔物件費〕 旅費や消耗品費
  - 〔維持補修費〕 公共施設の維持・管理費
  - 〔補助費〕 補助金や交付金など
  - 〔普通建設事業費〕 道路や学校などの建設費